

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

(別紙4)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年7月10日

【評価実施概要】

事業所番号	0873300917		
法人名	有限会社 ふれあい		
事業所名	グループホーム ふれあいの家		
所在地	茨城県那珂市横堀 2032-4 (電話) 029-352-1011		
評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	水戸市千波町 1918 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成21年3月19日	評価確定日	平成21年7月9日

【情報提供票より】 (平成21年1月31日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年5月15日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 5人, 非常勤 3人,	常勤換算 5.7人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り		
	1 階建ての	1	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	54,000 円	その他の経費(月額)	実費
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	-
食材料費	朝食	200 円	昼食 250 円
	夕食	250 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(平成21年1月31日現在)

利用者人数	9 名	男性 3 名	女性 6 名
要介護1	2 名	要介護2	3 名
要介護3	2 名	要介護4	2 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 85 歳	最低 77 歳	最高 97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	那珂記念クリニック、末永歯科医院
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

経営者は「在宅で暮らし続けたいという気持ちを大切にしたい」との思いで開設した。
地域のなかで利用者が自分らしく生き生きと暮らし続けるためにどうすべきかを考え、学童クラブへの訪問や地域活動への参加など地域の人々との世代間交流を活発にしている。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 外部評価結果を利用者の家族等に報告するとともに、課題の改善に努めている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) サービスの項目の自己評価を全職員に促し、気付きなどを活かして改善に取り組んでいる。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 年3回運営推進会議を開催している。 会議で出た意見を活かし、学童クラブとの交流を開始するなどサービスの質の向上に努めている。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 利用料金の支払いは家族等が直接事業所に来てもらうようにしており、来訪時に利用者の暮らしぶりや健康状態などをきめ細かく報告している。 利用者の健康状態などに変化があった場合は電話で報告している。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 高齢者や障害者の外出支援をしているNPO法人主催の食事会に参加している。 学童クラブを訪問し、利用者と子ども達が将棋やゲームを一緒に楽しんでいる。 地域の詩吟やカラオケボランティアを受け入れ交流している。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「ふれあい たすけあい ささえあいを大切に」や「地域社会において」などをキーワードに独自の理念を掲げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念について職員と話し合い共有するよう努めている。 理念を実践するため学童クラブや小学校に出かけるなど、利用者は地域と活発に交流している。		
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	高齢者や障害者の外出支援をしているNP ○法人主催の食事会に参加している。 学童クラブを訪問し、利用者と子ども達が将棋やゲームを一緒に楽しんでいる。 地域の詩吟やカラオケボランティアを受け入れ交流している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービスの項目の自己評価を全職員に促し、気付きなどを活かして改善に取り組んでいる。 外部評価結果を利用者の家族等に報告するとともに課題を改善するよう努めている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年3回運営推進会議を開催している。会議で出た意見を活かし、学童クラブとの交流を開始するなどサービスの質の向上に努めている。	○	運営推進会議は2ヶ月に1回開催することを期待する。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	監査の機会を活かして市と連携しサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用料金の支払いは家族等が直接事業所に来てもらうようにしており、来訪時に利用者の暮らしぶりや健康状態などをきめ細かく報告している。 利用者の健康状態などに変化があった場合は電話で報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等からの意見や利用者が入院する際の病院選びなどの相談に対応しているが、その結果を記録に残すまでには至っていない。	○	意見や不満、苦情等をサービスの質の向上の機会として捉えるとともに、対応や結果を家族等に説明し記録することが望まれる。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者は職員とのコミュニケーションを重視し離職を最小限に抑える努力をするとともに、離職により職員が交代する場合は全職員で利用者を支援しダメージの防止に努めている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修を受講した職員はカンファレンスで報告するなど内容を全職員で共有しているが、段階に応じた研修計画を作成するまでには至っていない。	○	計画的な人材育成という観点から、段階に応じた研修計画を作成し実施することを期待する。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者と職員が地域の同業者と相互に訪問し楽しい行事のあり方を学ぶなどサービスの質の向上に活している。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用開始前に職員が利用者宅を訪問して利用者や家族等と話し合うとともに、事業所に遊びに来てもらい馴染んでから利用を開始している。 急な利用開始の場合は事業所に馴染むまで家族に傍にいてもらうなど、協力が得られるよう配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者から観葉植物の育て方や裁縫などを教わったり、優しく言葉かけをしてもらうなど、お互いに支えあう関係を築いている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりの思いや意向を把握し、センター方式シートにまとめて全職員で共有している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	かかりつけ医の意見を参考にしながら利用者や家族等と話し合い、意向にそった介護計画を作成している。 介護計画案を家族等に説明し同意を得ている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月から6ヶ月ごとに介護計画を見直しているが、見直しの前提となるモニタリングや評価結果を記録するまでには至っていない。	○	モニタリングや評価結果に基づいた介護計画の見直しであることを再認識し、モニタリングシートや評価シートに記録しておくことが望まれる。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族等の都合が悪い場合は、通院につき添うとともに社会福祉協議会やNPO法人の移送サービスを利用するなど柔軟に支援している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者のかかりつけ医一覧表を作成するとともに、管理者はかかりつけ医から既往歴や薬の副作用に関する情報を得ている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に向けて家族等と話し合っているが、全職員が共有するための方針やマニュアルを作成するまでには至っていない。	○	重度化や終末期の医療処置等を含め、利用者や家族等と話し合った結果を記録し、全職員で共有するとともにマニュアルを作成することが望まれる。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	居室に入る際は利用者の許可を得るとともに、トイレ誘導などでは利用者の誇りを傷つけないよう言葉かけや対応に配慮している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床時間や食事時間に余裕をもたせ、一人ひとりのペースを大切にするよう努めている。 神社仏閣にお参りしたいなどの希望があった場合は、職員の勤務を工夫しながら希望にそって支援している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材は宅配サービスを利用しているが、宅配以外にも自家菜園で収穫した野菜を加えるなど旬の物を楽しんでいる。 利用者がそれぞれの能力を活かしながら食事の準備や後片付けを担っている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望にそって週3回以上入浴ができるよう支援している。 浴室の外に坪庭を造り、ゆったりとした雰囲気を入浴を楽しめるよう工夫している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は利用開始時のアセスメントで生活歴を把握し、畑仕事など得意なことを担ってもらうよう努めている。 将棋やカラオケなど利用者一人ひとりの趣味を活かした楽しみや気晴らしの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	職員は天気の良い日はできるだけ散歩するよう努めている。 週1回は近くのスーパーで買い物をしたり、NPO法人主催の食事会に参加するとともに学童クラブに出かけている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止マニュアルに基づき鍵をかけることの弊害について職員で話し合うとともに玄関にチャイムを設置し、安全に配慮しながら鍵をかけずにいつでも庭に出られるよう支援している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の消防訓練を実施するとともに運営推進会議で災害時における地域の協力を働きかけている。 災害時の食糧や飲料水を備蓄するまでには至っていない。	○	食糧や飲料水の備蓄などを職員で話し合うことを期待する。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの食事量や水分摂取量を記録するとともに、食材宅配サービス会社の栄養バランス表を基に食事量を調整している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広々とした共用空間に観葉植物を設置し、利用者がゆったりとした気持ちで生活ができるよう配慮している。 ウッドデッキに傾斜を設け、車椅子で直接庭に出られるよう工夫している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者に使い慣れた箆笥やベッド、枕、籐椅子などを居室に持ち込んでもらい、安心して生活ができるよう支援している。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。